

長野県知事賞

「心をつなぐ農業」

松本市立中山小学校

5年 洞澤 ひかり

私は、お父さん、お母さん、妹の優香、亜季、おじいちゃん、ひいおじいちゃん、おばあちゃんとくらしています。おじいちゃんとひいおじいちゃんとおばあちゃんは畑と田んぼを作っています。田植えの時期の五月になると、毎年、田植えの手伝いを、みんなです。田植え機には、お父さんが乗ります。私達は、なえ箱を運んだり、なえが空になった箱を洗うことを手伝ったりしています。手伝うとおばあちゃんが、「ありがとう。」と言ってお金をくれることもあります。やさしいおばあちゃんです。その後も肥料をまいたり、水の調節をしたりします。9月～10月になるといね刈りをします。お父さんがコンバインで刈ったもみは、トラックに乗せ、ライスセンターに運び、カントリーエレベーターに乗せます。それを何回もくりかえします。田んぼを4まい持っているので全部刈るのは大変です。食べ物や飲み物を持っていて休けいしながらやります。私が、おじいちゃんにお茶やおかしをあげると「ありがとう。」と笑顔で言ってくれます。食べる時になったら、精米します。私も精米する所にいっしょに行って、やった事があります。私は家で作ったお米のご飯しか食べた事ありません。そのご飯は、とてもおいしいです。冬は、田んぼがしみる前にトラクターで、田んぼをおこします。

夏の間は、トマト畑を作っています。実ったら毎日朝早く起き、トマトを取りに行きます。以前、ひいおじいちゃんが午前中、水分持って行かなかった時、熱射病になってしまったこともありました。一日中やって、とても熱い中、一生けん命やっていて、「すごい!」「がんばって!」という言葉では、足りないほどです。毎日、赤いカゴ50こ分近く取ります。取ったトマトは工場へ持って行き、トマトジュースにします。

その他に家の横にハウスと畑があり、朝や夜、食べたい時には取りに行って、新せんな野菜がいつでも食べられます。野菜は「サニーレタス」や「ピーマン」や「おくら」など約、10種類以上の野菜を作っています。私はおくらが好きなので、いっぱい食べられるのでうれしいです。とうもろこしも立派な美味しい物を作ってくれます。みんなであつという間に食べてしまいます。暑い中、畑仕事を一日中やっている、おじいちゃん達は汗びっしょりですごいと思います。畑で取れた野菜で作るお母さんの料理は、とてもおいしいです。おばあちゃんにも持って行ってあげると「ありがとう。助かる。」と言います。ちょっとでも楽にさせてあげられたらいいなと思います。

一生けん命汗だくになってやっている、おじいちゃん、おばあちゃん、ひいおじいちゃんが私は大好きです。これからもずーと長生きしてほしいです。そして「農業」を続けてもらいたいと思います。